



イギリス英語は 落とし穴だらけ

英国勅許会計士／ベルギー王国公認税理士

スティーブ・モリヤマ

Steve Moriyama



研究社



はじめに

本書では、イギリス文化とイギリス人の美德に焦点を当てながら、イギリス色の強い表現を集めてみました。「イギリス色の強い」というのは、世界的な「アメリカ英語化」のうねりの影響は大きく、もはやイギリス英語も例外とは言えないからです。特にZ世代の若者を中心にイギリス英語とアメリカ英語の境界線は次第にぼやけてきています。

しかし、言語は文化です。「共通の言語で分け隔てられた二つの国」というジョージ・バーナード・ショー（アイルランド生まれの劇作家）の皮肉は正鵠を射ており、イギリス人とアメリカ人との間では時に大きな誤解が生じます。イギリス好き（Anglophile）の書き手としては、知られざるイギリス英語の世界を皆さんにご紹介できれば、これに勝る喜びはありません。

もう一つの執筆理由は、イギリスという国が、これからますます大きくなっていくグローバル化のうねりを最も巧みに利していく国の一つだと感じているからです。近未来超大国のインドを始め、かつて植民地だった英連邦の国々とは、政治的にも経済的にも文化的にも強固な関係性を維持していますし、中国やロシアなど、他の21世紀の大国とも太いパイプを構築しています。もちろん、引き続きアメリカとも密接な関係を維持していくでしょうし、資源大国のカナダ、オーストラリア並びに南アなどとも長年にわたってパイプを築き上げています。その意味で、イギリスは今後も「グローバル・ネットワークャー」として輝き続け、日本にとっても重要な国であることは論を俟たないからです。以上の二つが、本書を上梓した主たる理由です。

なお、外国語を学ぶには、知られざるコツがあります。それは言語にのめり込んだ経験を持つ人に教わることです。「言葉に選ばれた人」です。ネイティブであっても、海外留学や生活経験があっても、言葉に選ばれていない人に習ってはなかなか成果は出ません。

例えば、読者の皆さんの多くは、日本語のネイティブ・スピーカーだと思いますが、「国語にのめり込んだ」「日本語に選ばれた」と自信を持って言い切れる人が、はたしてどのくらいいるのでしょうか。持続的パッションを持って言語の世界をいろいろな角度から見せてもらうことが、言語習得の早道だと思います。

ちなみに、学生時代の私は決して真面目な学生ではありませんでしたが、高校生のころから、暇さえあれば辞書を眺めていました。なぜかというと、活字の山の中から、単語の一つひとつがリアリティをもって私に向かって自分の存在を訴えかけてくるような感覚によく囚われたからです。その後、社会人生活をロンドンで始めましたが、語彙の豊富さはいろいろな局面で私を助けてくれました。以来、四半世紀のあいだ欧州に暮らしながら、英語の深海をダイブし続けています。

グローバル化の時代は「ブローケン英語で構わない」という人もいます。しかし、英語の源流にある国の人たちと少しでも心が通い合うようになると、情報の精度が上がり、世界はまた違った形で見えてきます。水先案内人として読者の皆さんをイギリス英語の大海原にご案内いたします。

スティーブ・モリヤマ
カリブ海プエルトリコにて

目次

- Noと言わないイギリス人 1
- manage to ... の自嘲的用法をご存じですか? 6
- 満腹感をスマートに伝えよう 10
- 微妙なニュアンスの違いがわかりますか? 13
- あなたの英語をイギリス英語っぽくする簡単な方法 16
- なんでも控え目に!? 20
- 先ほども申し上げましたが… 27
- 要注意! so-calledに潜むニュアンス 29
- イギリス人がよく使う I suppose ... にご用心 32
- えっ、reservationsって〈予約〉じゃないの? 34
- 熱意を伝える英国的形容詞 37
- 皮肉の味は蜜の味!? 41
- 〈謙遜〉と〈皮肉〉のはざままで 48
- tan (日焼け) といえども… 50
- 秘密のカギは発音にあり abbreviation と acronym 53
- 頭字語と言葉遊び 57
- 骨折り損のくたびれ儲け 59
- 行け行けどんどん 62
- 〈現在完了形〉を好むイギリス人 64
- 書き換え問題の虚構 68
- 聞き返すときの表現 72
- 〈ドジ〉と聞こえるけれど、意味は? 75
-

| | |
|------------------------|-----|
| 語源を知ると得をする!? | 77 |
| 簡単なようで難しい単語〈thing〉 | 80 |
| 駄洒落はお洒落!? | 82 |
| コミュニケーションの達人 | 86 |
| 〈告発〉の行方 | 89 |
| 欧米人だって、ときには〈根回し〉をするけれど | 91 |
| 〈反省〉の色とは? | 95 |
| 政治家は〈豚樽〉が好き? | 99 |
| ネイティブも間違える表現 | 101 |
| 〈プリーズ〉にまつわるエトセトラ | 103 |
| Asianから連想される意味 | 109 |
| 俗語薄命 | 111 |
| 〈引きこもり〉のヒミツ | 114 |
| ポッシュな人たちって? | 117 |
| 謎のスポーツ〈クリケット〉 | 124 |
| 〈サッカー〉から生まれた英語 | 128 |
| なぜ、電話を〈犬〉というのか | 130 |
| 〈赤いニシン〉の匂いとは? | 136 |
| 〈犬の件で男に会いに行く〉の謎 | 141 |
| 魚クンは魚クン | 144 |
| イギリスの若者の好きな言葉 | 148 |
| 〈持ち家〉の幻想 | 150 |
| 欧米におけるヨコメシのルール | 153 |
| 〈dinner〉という単語の意味 | 160 |

| | |
|-------------------|-----|
| 〈いただきます〉に相当する英語は？ | 162 |
| お茶はいかがですか？ | 165 |
| イギリス人とお酒を飲むときの常識 | 168 |
| 〈思秋期〉の危機 | 182 |

■ TEA BREAK

| | |
|--------------|-----|
| 近い | 5 |
| 複数形の怪 | 9 |
| ほう・れん・そう | 19 |
| アポストロフィーの謎 | 26 |
| 八方美人 | 71 |
| お誘いの文句 | 85 |
| 「たくさん」のニュアンス | 94 |
| 階層と犬種 | 108 |
| パンチとジュディ | 180 |

【巻末資料】

| | |
|-------------------|-----|
| イギリス英語 vs. アメリカ英語 | 185 |
|-------------------|-----|

Noと言わないイギリス人

昔から「Noと言わない」と揶揄される日本人。でも、それはイギリス人も同じなのです。例えば、**I hear what you say.** (あるいはI hear what you're saying.) という表現があります。イギリス人がこれを口にしたら、99%は「僕の意見は君とは違う。もうこの話はやめにしよう」という拒絶のニュアンスになります。I hear what you're saying. のほうが、多少柔らかい感じもしますが、いずれにせよ意味は同じです。

先日、パブで飲んでいたら、無表情でこの言葉を口にした50歳前後の金髪のイギリス人に対して、30代の日本人が **You heard me, right?** と、アグレッシブに言質を取っているのを見かけました。たぶん、上司と部下でしょう。むろん、他人の私は何も言いませんでしたが、その日本人の返答を聞いたとき、「あらら、やっちゃったな」と思いました。案の定、相手のイギリス人の顔は少しばかり硬直していました。

一般論ですが、あなたのイギリス人上司がこの表現を使ったら、黙っていたほうが無難でしょう。**You heard me, right?** などと口にするのはtoo confrontational (挑戦的) で愚の骨頂です。少なくとも、その話題に拘泥するのはやめて、別の話をふるのが無難でしょう。諦められない場合は、**I'm glad you do.** (恐れ入ります) と言うか、あるいは何も言わずに話題を変えて、とりあえず、いったん

棚上げたほうが賢明でしょう。しばらく冷却期間を置き、別の切り口から説得を試みてはどうでしょうか。

◆ 関連表現

- ・ 棚上げする move it onto the back burner
- ・ プロジェクトを棚上げする shelve the project

それから言い方ですが、もしあなたがI hear what you say. を使うのであれば、テンションを下げて低く淡めに言いましょ。たいていこの表現が使われる場面は、ビジネス関連のシリアスな話題ですので、自然にそうなるはずで。

なお、アメリカは広いので一般化できませんが、一部の人を除いて、多くのアメリカ人は字義通りに受け取るでしょう。

むしろ、一定の場面で使われる日本語の生返事（気のない返事）に近く、日本人の方がニュアンスを正確につかめそうです。特に変化球に慣れている京都あたりの方なら、この種の英語に慣れるのは簡単でしょうし、日本人一般にも、それほど違和感はないかもしれませんが、島国的表現なのでしょうか。

せっかくですから、イギリス人のようにNoと言わずに、うまく間合いを取ったり、同意できないときに持論を展開するための緩衝材的表現や枕詞をいくつか覚えておきましょう。「緩衝材」を自由自在に使いこなせる力は、ストレスを抱える人が多い現代社会では大切な資質といえます。似たような表現はたくさんありますが、以下に例を挙げておきます。

- ・ Yes, but ...
- ・ I see what you mean, but ...

- ・ I take your point, but ...
- ・ You may (well) be right, but ...

「あなたは正しいかもしれない」「なるほど」とまず相手を立てた上で、butの後で持論を述べる手法です。最後のYou may be right. という表現にはI doubt it. という疑いのニュアンスがより強く出てしまうかもしれません。老獪にI agree but ... (確かにおっしゃる通りです、但し…)と、たとえ同意していなくても、前置きを使う手もあるでしょう。いずれにせよ、but ... と言った時点で相手は身構えるでしょうが。

このbutという言葉は、それまでのトーンを180度転換してしまう魔法の言葉です。もっとも、butが多い相手に対してはThere are no buts about it. (しかしもかかしもない)とクギを刺す手もありますが、きつい言い方ですから子供を諫めるとき以外にはあまり使いません。

それから、It's not that ..., it's just that ... (…なわけではなく、ただ…です) という構文も使えるでしょう。

It's not that I disagree with you — it's just that I'm saying we should consider other options as well. (反対しているわけじゃないのです。ただ、他の選択肢も検討すべきだと言っているのです)

この表現は、もっと簡単にCould we consider some other options? (一緒に他の案も考えましょう) と言ってもいいでしょう。こう言われたら、「相手は自分の出したアイディアが気に食わないのだな」と行間を読んだほうが賢明です。

それから、本音を言うときによく使うのがHaving said that, という枕詞です。相手に表向き同意した後に、「とは言うものの」と

本音を言うときや、建前や原則を述べた後に持論を展開するときには有効です。That said, ... もしくはThat being said, も同様の表現です。

Having said that, it is a little difficult to define exactly what it is. (そうは言っても、はっきり定義することはちょっと難しいですね)

それから、「可能性なし」と言わずに誤魔化すにはどうすればよいでしょうか。

I wouldn't rule out the possibility. (そういう可能性は必ずしもないとは言いきれません)

私は、この表現をイギリスでしばしば耳にしました。ほとんど可能性がなくても、「ない」とは言わないイギリス人が多く、彼らには辟易させられたものです。しかし、こういう表現にも慣れておくと、思わぬ場面で効果を発揮するでしょう。rule out の代わりにexcludeを使ってI wouldn't exclude the possibility. (そういう可能性は必ずしも否定できません) と言ってもいいでしょう。

I'll bear it in mind. (心に留めておきます) も、「興味なし」の婉曲表現です。こう言われてしまったら、残念ながら、あなたの提案が採用される可能性はあまりないかもしれません。

つぎに、イギリスでは使い古された「緩衝材」として有名なWith all due respect, ...やWith the greatest respect, ... という表現はどうでしょう。日本語の「お言葉ですが…」と同じく、このコトバを聞いた相手は即座に構えてしまうでしょう。警戒されるような表現はもはや「緩衝材」にはなりえませんので、使わないほうが

いいでしょう。

それから、以前So what? (だから何なの?) という表現を「それでどうしたの?」(What happened next?) と混同しているのか、しきりに繰り返している日本人を見かけたことがあります。この表現は相手の話に興味を持ったときに使う表現ではありません。実は正反対で、相手の話に関心ない態度を「露骨に」示す表現です。英米ともに通じますが、挑発的な表現ですので、ニュアンスのコントロールが効かない初学者はきれいさっぱり忘れてしまったほうが賢明でしょう。下手に使うと人間関係を悪化させるだけです。

TEA BREAK 近い

クイズやなぞなぞで、相手の答えが「近い」は英語でどう表現したらいいでしょうか。正解はYou're getting warmer. です。かなり近い場合は、You're getting hotter. といえるでしょう。逆に答えから離れて行ってしまった場合はYou're getting colder. といいます。まったくハズレの場合は、You're really cold. です。英語では「温度」で表わすのですね。ちなみに、「当たたり!」はSpot on!です。

manage to ... の 自嘲的用法をご存じですか？

イギリスの伝統的文化の一要素に「自嘲」(self-deprecation, self-mockery, self-denigration)があります。というと、難しそうに聞こえますが、自嘲的に表現をする上で、日本でもお馴染みの **manage to ...** という表現が役に立つのです。皆さんもご存じのように本来は「(努力して)何とか～する」、つまり「スムーズではないものの、首尾よく行く」という意味ですが、以下の例文はどう解釈したらよいのでしょうか？

- ・ I've managed to miss the appointment.
- ・ I've managed to leave my passport at home.
- ・ I've managed to miss the train.

実は、**manage to ...** を使うと、「うっかりヘマをした自分」を自嘲的に表現することができます。自嘲癖が大人の印とされるイギリスではよく耳にする表現です。

上の例文でいうと、「絶対にこのアポは忘れないように」と何度も自分に言い聞かせておいたのに忘れてしまった場合や、前日に「パスポートを忘れないように」と何度も自分に言い聞かせておいたのに、翌朝、家にパスポートを置いたまま空港に向かってしまった場合。そして、何度も何度も、時刻表を確認したのに電車に乗り

遅れてしまった場合です。「いや～、我ながら間抜けだよねえ。○
○しちゃったよ～」といった感じでしょうか。

アメリカでも通じますが、あちらでは一般的に自嘲は美德とされてい
ませんので、使われる頻度は低いと言えるかもしれません。一方、イギリスでは自嘲的なユーモア (self-deprecating humour) 精神は伝統的美徳とされていますので、自嘲的な表現方法を身に
着けると親近感をもってもらえるでしょう。You love people who don't take themselves too seriously. (我執に囚われていない人は愛されます)

せっかくですので、英語で「自分を笑い飛ばす」練習をしてみま
しょう。

◆ 練習問題

- (Q1) ホテルの部屋に鍵を置き忘れたままドアを閉めてしまっ
たら。
- (Q2) うっかり奥さんの誕生日を忘れてしまったら。
- (Q3) iPhoneを誤ってトイレの中に落として水没させてしまっ
たら。
- (Q4) ホテルで朝寝坊して朝食の時間を過ぎてしまったら。
- (Q5) 電車で寝過ごして降りる駅を通過して終点まで行ってし
まったら。
- (Q6) 新しいパスワードを忘れてしまったら。

〈解答例〉

- (1) I've managed to lock myself out (of the room).
- (2) I managed to forget my wife's birthday.
- (3) I've managed to drop my iPhone in the toilet.

- (4) I managed to sleep long enough to miss breakfast.
- (5) I managed to miss my stop and slept all the way to the end of the line.
- (6) I've managed to forget my new password.

なお、上記例文には現在完了形と過去形を混ぜておきましたが、この違いについては64頁を参照してください。

もう一つだけ自嘲表現をどうぞ。最近では、誰もがTwitterやFacebookなど、SNS (Social Networking Service) をやっているようですが、中年以上ですと、いまだにインターネットやコンピューターが苦手な人がいます。そういう人が、「フェイスブックやってますか？」と聞かれたときにSorry, I'm a bit of a luddite. と言うと、自嘲プラスおどけた感じが出せて好感度が高いかもしれません。

西洋史で習った方もいるかもしれませんが、19世紀のイギリスでは、機械化に反対する人たちが機械を破壊する運動を起こしたそうです。日本では「ラダイト運動」として知られており、英語ではそういう人をa Ludditeと呼びました。情報革命についていけないオジサンやオバサンの自分を表現するにはうってつけの表現ではないでしょうか。

それから、hunt and peckと言えは「指使いが出鱈目で、我流にタイピングする」「一本指でキーボードをぎこちなく叩く」という意味で、そういう人はタイピング・エラー (typos) が多くなりがちです。タイピングが苦手な人はSorry, I'm a hunt-and-peck typist. と自嘲的、自虐的に表現してみてもいいでしょう。

なお、a bit ofは、控え目を好むイギリス人らしい表現で、これを使いこなせるようになると、イギリス人っぽく話せるようになります。強めの形容詞や名詞を柔らかく響かせる働きがあります。例

例えば、He's a bit of a nasty chap. (よく知らないけど、ちょっと嫌な感じの奴みたいだね) などと言えそうです。chapは、「面識はある」といった程度によく知らない人に使います。He's a nice chap. (彼は良い奴っぽいね)。併せて16頁もご参照ください。

言うまでもなくSelf-deprecation can backfire. (自嘲は美德とはいっても、TPOをわきまえないと逆効果になる恐れあり) ですので、言わずもがなですが、例えば、面接など自分を強く見せるべき場面では避けましょう。

TEA BREAK 複数形の怪

複数形と単数形は奥の深い世界です。日本の中学校でpersonの複数形をpersonsと習った人は少なくないと思います。ですが、正解はpeopleです。personsは文法的には正しいかもしれませんが、会話ではほとんど使われません。非常に固い法律用語的な響きがあるのです。ですから、契約書とか正式書類を作成するときに使う分にはいいのですが、何気ない日常会話で使ってしまうと相手は違和感を覚えるでしょう。

なお、法律的用法の例として、エレベーター（英国ではliftといいます）に乗ると「最高何人まで乗れます」と免責しており、これをexclusion clauseというのですが、たいていそこではpersonsが使われています。堅苦しい、もしくは滑稽な印象を与えないためにも、会話ではpersonsは使わないほうが賢明でしょう。